



発行：神戸大学大学院医学研究科小児科 こども急性疾患学部門

### 神戸こども初期急病センター

 2011年 11月受診者数：1715人

#### 訴え

(カッコ内は、その症状を主な訴えとして来院した患者数)

- 1. 発熱 : 890人 ( 677人)
- 2. 咳 : 715人 ( 210人)
- 3. 鼻汁 : 511人 ( 17人)
- 4. 嘔吐 : 293人 ( 135人)
- 5. 発疹 : 198人 ( 168人)

#### 疾患頻度

- 1. 急性上気道炎・咽頭炎 : 574人
- 2. 感染性胃腸炎 : 243人
- 3. 気管支炎・肺炎 : 105人
- 4. 気管支喘息・喘息性気管支炎 : 183人
- 5. じんま疹 : 73人

インフルエンザA陽性 : 29人



### 今月のワンポイント！

今年も残すところあと1ヶ月となりました。12月にはいり、平均気温が11月と比較して約3℃下がり、ますます寒い季節となりました。神戸ではルミナリエが点灯しているニュースが流れていましたが、みなさん厚手のコートを着込んでおられました。最低気温は10℃を下回っており朝晩の寒さが際立ってきています。

さて、当センターの11月の受診者数は1715人で10月と比べてほとんど変わりはありませんでした。最も多い受診理由は発熱、咳、鼻水といったいわゆるかぜ症状でした。これらの患者様の多くは、かぜ症候群（急性上気道炎・咽頭炎）であります。11月には当センターでもインフルエンザの患者様を確認しました。その方々はすべてインフルエンザA型でした。これから季節がすすむにつれ、ますますインフルエンザが増加するものと予想されます。手洗い、うがいといった基本的な感染予防を心がけてください。

また、かぜ症候群について、胃腸炎の患者様が多くみられます。胃腸炎は基本的には手を介して感染します。かぜやインフルエンザと同じですが、手洗いをしっかり行いましょう。

